



みんなで考えよう



平和のこと

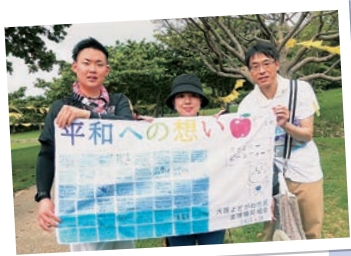
沖縄慰霊の日

6月23日の沖縄慰霊の日に合わせてよどがわ市民生協職員4人が沖縄視察を通じて、基地の現状や歴史を学ぶことができました。

1945年太平洋戦争末期、アメリカ軍を主体とする連合軍と日本軍との間で行われた沖縄戦。約20万人が犠牲となり9万4,000人は沖縄県の一般市民でした。

沖縄本島中部にある嘉数高台公園周辺は、沖縄戦の激戦地でもあり、「トーチカ（防御の中心となる陣地）」に残る無数の弾痕が激しい戦闘を物語っていました。また、展望台からは普天間基地が一望できます。市街地にあり、住宅や学校に囲まれているため「世界で最も危険な飛行場」と言われています。これは沖縄だけの問題でしょうか？

コープおきなわ主催の「ファミリーピースウォーク」では、激戦地となった沖縄南部を歩き、平和について考え、それを周りに伝えていく、そこには、よどがわ市民生協組合員より預かった平和への想いも一緒に歩きました。



〈職員の感想より〉

コープおきなわの平和委員さんの言葉「戦争なんて体験したことないから知らないで終わるのか、戦争はあってはならないと思い学び、始まらないためにはどうしたらいいのか考えるのか、自分はどっちになるべきか考えてほしい。戦争は始まったら止めることはできない」と子どもたちに伝えていたのが印象的でした。今後も平和といえる世の中にするために行動し、学習をすすめます。



環境のこと

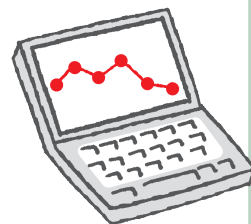
『プラごみ調べ』実施中!!

みなさんは、「プラごみ調べ」に参加したことはありますか??よどがわ市民生協では、2020年度より全大阪消費者団体連絡会（以下、消団連）の呼びかけに賛同し、機関紙などで案内を行なっています。

プラごみ調べて?

ごみとして捨てた容器包装プラスチックと使い捨てプラスチック製品が毎日どれくらい発生しているか“数”を記録するものです。期間中連続した3日間の数を用紙に記入し、提出します。

プラごみ調べの目的は「プラごみ問題について、日々の暮らしの中で考える“きっかけ”にすることです。この調査を行う前と後では、買い物やゴミ出しでプラごみについて意識するようになったかどうかの質問に2022年度の参加者中50%以上の方が「より意識するようになった」と回答しています。



すでに取り組んだことのある組合員さんや初めての組合員さんも、ぜひトライしてみてくださいね★

申し込みは、8ページのインフォメーションを参照。

〈参加者の感想〉

- プラごみ調べをしないとプラごみとして気づかないゴミが多いことがわかりました。数をカウントしていくのは意外と楽しく、またあらためてプラごみの多さに気がつきました。
- 日頃からプラごみの多さには驚いていますが、今回さらに意識するように分別すると何が多いかわかりました。あらためて意識できよかったです。
- プラスチックのない世界が想像できないほどプラスチックに頼っていることがわかりました。
- プラスチックを使用し販売する事業者も消費者もしっかり考えていく時期ですね。